

令和7年第5回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和7年5月20日（火） 午後2時00分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 廣 原 幸 子
- 4 教育長及び出席委員
教育長
教育委員 4名
事務局 12名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題（議事） 以下のとおり
- 7 会議の概要
 - （1）開会
小沼教育長 午後2時00分開会を宣す。
 - （2）議事録署名人の指名
小沼教育長 廣原委員を指名する。
 - （3）教育長の報告
小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

小沼教育長 教育長の事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。

各委員 （特になしの声）

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。
 - （4）議事
小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第7号」から「報告第10号」及び「議案第12号」については、人事案件及び議会提出案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと

と思いますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第7号」から「報告第10号」及び「議案第12号」の案件を非公開といたします。

【報告第7号】【報告第8号】【報告第9号】
【報告第10号】【議案第12号】 非公開

小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長 続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは廣原委員からお願いします。

廣原委員 4月から茨城県立歴史館の行政資料課に勤務しており、主な仕事は、県庁から移管された行政文書を整理・データ化して管理することなのですが、そのほかに、教育資料も収集しています。どのようなものかという、県内の全市町村の小学校の教育資料、たとえば沿革史や明治時代の学校日誌なども収集しています。学校日誌には、戦中戦後の事実が詳しく書かれていて、意義のある収集だと思っています。沿革史には、当初、自分たちの地区に学校を作るために寄附をし、土地も自分たちで用意して、寺子屋みたいな学校を作ったということも書かれています。これから笠間市も小中学校の統廃合があると思いますが、若い保護者は賛成されても、その地域にずっと住んでいる年配の方は、学校が作られてきた経緯を知っているのと、地域の学校ということで、ずっと勤労奉仕をやってきた方もいるので、統廃合を反対される方も多いと思います。今後統廃合を進めるときには、そのような事情もくみ取って、納得できるようにできたらいいと思いました。

小沼教育長 ありがとうございます。続いて、吉崎委員お願いします。

吉崎委員 以前の定例会で、次期学習指導要領の改定に向け、中央審議会が審議中という話をしましたが、その中の検討事項に、教育委員

会への支援強化、および、指導主事などの資質能力の向上という項目が上がっています。その中で特に私が注目しているのは、指導主事の資質能力をどのように向上させるかということです。我が国の指導主事は、優秀な方が選ばれていると思いますが、さらに力量を向上していただきたいと思っています。その際に私が重要だと思っているのは、先進校への視察、研究会や学会への参加です。というのも、私が知っている、たくさんの指導主事の皆さんが、指導主事は非常に忙しいし、現場を離れるので寂しいということはあるが、今までにないような多様な教育実践や、教育の動向に触れられる時間があることが、最大のメリットだと言っています。笠間市では、指導主事の力量向上のための時間と費用は、どのように確保されているのか、例えば、先進校訪問や研究会等への参加費や旅費の補助、また、参加するための時間が確保されているかなどを教えてください。

事務局

情報ＩＣＴ関係では、ブロック単位の研修会などには指導主事の方に参加をしてもらい、いち早く情報入手をして、市内に展開する体制はとっています。

事務局

予算は教育委員会運営費として、汎用的な予算をとっている状況です。

小沼教育長

資質向上のために、自由に使える予算があるのかということですね。

吉崎委員

そうです。国のほかにも、いろいろなところで情報を伝える研修会などがありますので、そこに出席するのはわかるのですが、そうではなく、例えば、指導主事が勉強のために、研究開発学校や、リーディングＤＸ校、生成ＡＩパイロット校などの見学や、自分の専門分野の研究授業や研究会等を自由に選択して行けるのかということです。自由に選択ができることが専門性を高めることになると思います。新しい教師になってほしいということは、指導主事にも新しいスタイルになってほしいということです。そのためには、研修等の内容を自分で自由に選べなくてはいけないということです。そのための費用を半分補助するとか、年に２回、せめて１回は自分たちで選んだ研修に参加していい、というぐらいにならないと専門性とはいえないと思います。日本は、指導主事を育てるための専門性を認めていなかったところが悪かった点だと思います。これからは、指導主事がコアになると思います。学校に指導に行ったとき、自分たちが学んでいなければ、新たな

動向や、実践したことに対してどのようなことが大切なのかを指導助言できないわけです。新しい学習においては、ここが本質になると思いますので、市が費用を半額補助するとか、研修に行く時間を確保してあげるとかしないといけないのではないかなと思っています。今聞いたところだと、残念ながら、選択の自由はあまりないのだなと思いました。

鳥羽田委員

以前に寄附金をもらって、その寄附金を研修に充てる予定だ、という話をされていたと思います。その寄附金を利用する方法があると思うのですが、どうなのでしょう。

事務局

条件付きの寄附金ですと、当然条件が当てはまる場所にしか利用できないのですが、私が把握している中では、笠間市の子育てのためや教育振興のためにという内容の寄附が多いのが現状で、教職員の研修のための補助、という名目の寄附は受領した記憶がありません。

鳥羽田委員

職員の研修に充てる寄附金がある、という話を聞いた記憶があったのですが、ないのであれば仕方ないです。

小沼教育長

去年より職員の研修に対して、市から1万円の補助が出るということで、指導主事二人がデジタルアーキビストの資格を取りに行きました。1万円の参加費だったので、自己負担なく資格を取りました。この制度を、教育委員会の中でも利用できるようにしていきたいと思っています。やはり、自分で選んだ研修を受けたほうが良いと思います。

吉崎委員

研修を主体的に選んでいかないと、専門性向上にはつながりません。今回、指導室に数学の指導主事が二人入っています。国語はすごくよかったけれど、数学が弱かったということで強化したのだと思うのですが、指導主事も勉強をしたいと思います。これは要望ですが、数学の新しい展開を実践している学校がある、先生がいる、といったときに、せめて研修に行く時間だけでも確保してあげる必要があると思います。

小沼教育長

総務グループでも、要望ということで検討してもらえればと思います。

小沼教育長

続いて、鳥羽田委員お願いします。

- 鳥羽田委員 先日、笠間城の天守の復元ができる可能性があるのでは、という記事が出ていました。記事は、小山工業高等専門学校の教授と学生の研究発表ということだったのですが、笠間市とその研究との関連性や、連携がどのようになっているのか教えてください。
- 事務局 この研究に対して、笠間城に関する様々な情報提供はしています。建築物専門の学生の研究ということで、正式に調査委員会等にかけたわけではないので、今回はあくまでも、発表の場があったという認識です。この発表をもとに、検証ないし調査を進めていくようになると思います。
- 鳥羽田委員 現在は、笠間市としては建物の調査を行っていないようですが、今後建物の調査もしながら、将来的には天守を復元していく方向なのでしょうか。
- 事務局 そのような将来もあるということで、天守復元が可能かどうかも含め、これから調査をしていかなければならない、ということが分かったという状況です。
- 鳥羽田委員 わかりました。
- 小沼教育長 最後に戸田委員お願いします。
- 戸田委員 私の工房で、5月30日に、新規採用教員指導力向上研修で陶芸体験をしてもらうことになっています。昨年に続き2回目となりますが、目的としては、地元の伝統文化である笠間焼を体験してもらい、今後に活かしてもらうということと、もう一つは、新規採用の先生同士が、学校という場所から少し離れたところでリラックスして交流し、お互いに悩みなどを相談できるような場になればいいということで、教育長と相談して始まったことです。昨年行って感じたことは、教員1年目でいろいろ悩みがあるということでした。講師の経験とかがある方はキャリアがあるのでいいと思うのですが、一番若い方は、前年まで学生だったわけです。そういう方が、学校現場に行くと先生と呼ばれて、全部できないといけないような雰囲気になるわけです。保護者としては、先生に全部期待してしまうのですが、それは難しいことなのではないでしょうか。先ほど話が出ましたが、時間をとって、いろいろな経験ができる環境作りが、先生を育てるためには大事であり、その経験を通して、だんだんいい先生になっていくのだろうと思いました。

小沼教育長 ありがとうございました。ほかにございますか。

各委員 (特になし)

(6) 閉会

小沼教育長 午後2時43分閉会を宣す。

8 議決事項

報告第7号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第12号	令和7年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	可決